

2008年12月11日

報道各位

パンパシフィック・銅株式会社

銅製錬減産について

パンパシフィック・銅株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目 社長：加藤英二 以下「PPC」）は、米国発の世界的な金融危機を背景とする国際的規模での景気悪化に伴う急激な銅需要の縮小に対応すべく、傘下の製錬所において、下記のとおり減産を実施することと致しました。

記

1. 減産数量 PPC傘下の銅製錬会社、日鉱製錬(株)、日比共同製錬(株)における銅製錬の操業度を10～20%落とす。
2. 減産時期 平成21年1月～3月
3. 減産の方法等 減産は、当面は操業度を10%落とすということで実施するが、市場の動向によっては上記の範囲内で追加減産もありうる。

本件減産により、当社の当期生産量見込は以下のとおりとなります。（10%減産を前提）

品目	単位	平成20年下期 生産予定 (今回発表)	平成20年下期 生産予定 (本年10月発表)	平成20年上期 生産実績	平成19年下期 生産実績
銅	t/期 (t/月)	295,000 (49,167)	310,600 (51,767)	300,000 (50,000)	302,800 (50,466)
硫酸	t/期 (t/月)	760,000 (126,667)	808,100 (134,683)	862,800 (143,800)	738,300 (123,050)
金	kg/期 (kg/月)	14,000 (2,333)	14,744 (2,457)	15,340 (2,557)	15,484 (2,581)
銀	t/期 (t/月)	143 (24)	151 (25)	161 (27)	163 (27)

以上

【お問合せ先】

パンパシフィック・銅株式会社総務部 村山, 小松崎

TEL:03-3560-8600